

学年	コース	教科	科目	類型	必・選	単位数
1	CF	外国語	英語表現 I	全	必修	3

講座のねらい

外国語を習得する場合には、その土台となる文法事項をきっちりと身につけることが求められます。中学英文法を基礎とし、さらに高度な高校英文法を学び、英語の4技能をマスターすることをねらいとします。また、センター試験をはじめとする大学受験で頻出される文法問題を解くことができるようワークブックや参考書を用いて反復練習を徹底します。

使用教材及び問題集

教科書' ' DUAL SCOPE English Expression I' ' (数研出版)
 副教材' ' DUAL SCOPE English Expression I ドリルブック' ' (数研出版)
 参考書' ' チャート式DUAL SCOPE 総合英語 新訂版' ' (数研出版)

授業の内容と進め方

予習として、教科書の各LESSONの左頁と、参考書である「DUAL SCOPE 総合英語」の相当箇所を各自で読んでください。授業で文法事項の解説を聞いた後、教科書の「Exercises」をノートに解いてください。その答え合わせは授業で行います。実力を養うために、必ず復習を徹底して行ってください。復習として、授業でやったことを見直し、各Lessonが終わるごとに、ドリルブックを解いてください。各レッスンを終えるたびに確認テストを実施します。また、各Lessonの「DUAL SCOPE 総合英語」の該当箇所を良く読んでください。「基本例文集」の例文（1～3 1 5 番の通し番号がついている英文）を音読して暗記してください。この例文集は教科書の巻末にも掲載されています。

講座の到達目標

中学校での既習事項をベースとしますが、さらに高度な高校英文法の最重要かつ最頻出事項を徹底して身につけます。その上で、翌年度の英語表現Ⅱの授業で正確な文法や構文を用いて英作ができるよう、大学受験演習の土台をつくっていきます。

評価の観点・テスト・課題など

評価は、定期考査・小テスト・課題・ノート・プリント等総合的にを行います。更に、授業中の態度も評価の大きな要素となっています。既習事項である中学英文法の範囲については、当然理解しているものとして問われますので、まだ不安要素がある人は、必ず参考書を熟読し、理解するよう心がけてください。授業で実施される確認テストに向けてしっかり学習してください。提出物の提出期限は必ず守ってください。未提出の場合は、減点対象となります。

備考

授業の計画

1 学期 学習計画および学習内容

Lesson 1 英語の型で表現する
Lesson 2 さまざまな時を表現する
ここまでで中間考査
Lesson 3 助動詞
Lesson 4 受動態
ここまでで期末考査

生徒達の学習状況を十分に考慮しつつ進めますので、若干進度が変更する場合があります。
夏期講習で上記の範囲を正規授業として進めることがあります。

2 学期 学習計画および学習内容

Lesson 5 不定詞
Lesson 6 動名詞
Lesson 7 分詞
ここまでで中間考査を実施
Lesson 8 比較
Lesson 9 関係詞
ここまでで期末考査を実施

生徒達の学習状況を十分考慮しつつ進みますので、若干進度が変更する場合があります。
冬期講習で上記の範囲を正規授業として進めることがあります。

3 学期 学習計画および学習内容

Lesson 10 仮定法
以下、ワークブックと参考書を用いて、否定、強調・倒置・挿入・省略・同格
ここまでで学年末考査を実施

生徒達の学習状況を十分考慮しつつ進みますので、若干進度が変更する場合があります。
春期講習で上記の範囲を正規授業として進めることがあります。